

## 「壁画ナビゲーション」・ 「名品ナビゲーション」の公開

飛鳥資料館・平城宮跡資料館では、2014年8月より、文化財の高精細画像を大型タッチパネルモニターで自由に拡大・縮小して観賞できるナビゲーション・システムを導入しました。このシステムを用いて、様々な文化財の細かい部分を観察することができます。

飛鳥資料館の「壁画ナビゲーション」は、高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の高精細画像を鑑賞できます。壁画を拡大すると、細かい模様や下書きの跡等を観察でき、様々な発見があります。石室内で撮影した画像と、石室から取り出した後の画像を比較すれば、湿度による色味の違い等もわかります。また、赤外線画像では壁画の輪郭を描いた墨線がより見やすくなり、壁画の描き方の特徴を知ることができます。

平城宮跡資料館では、高松塚古墳・キトラ古墳壁画の高精細画像にくわえて、企画展・特別展で出品された資料の中から、ぜひ細部まで注目していただきたいものを選びすぐって紹介しています。

例えば、今年度の夏期企画展「平城京ビックリはくらんかい—奈良の都のナンバーワン—」からは、直径2.2cmの巻物の軸頭に、18文字が非常に細かく丁寧に書かれた「最小文字の木簡」等を取り上げており、普段は間近で見られない部分までじっくりと鑑賞することができます。今後も企画展・特別展ごとに資料を追加・更新し、充実させていく予定です。

両館とも来館者の方々にはたいへん好評いただいています。この機会に、ぜひ飛鳥資料館・平城宮跡資料館にお越しいただき、ナビゲーション・システムをお楽しみください。

(企画調整部 丹羽 崇史・中村 玲)



飛鳥資料館の「壁画ナビゲーション」